

## 様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	南海福祉看護専門学校
設置者名	社会福祉法人 南海福祉事業会

### 1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	本校ホームページ <a href="https://www.nansen.ac.jp/pdf/lectures/h30_kessanhokoku.pdf">https://www.nansen.ac.jp/pdf/lectures/h30_kessanhokoku.pdf</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://www.nansen.ac.jp/pdf/lectures/h30_kessanhokoku.pdf">https://www.nansen.ac.jp/pdf/lectures/h30_kessanhokoku.pdf</a>
財産目録	<a href="https://www.nansen.ac.jp/pdf/lectures/h30_kessanhokoku.pdf">https://www.nansen.ac.jp/pdf/lectures/h30_kessanhokoku.pdf</a>
事業報告書	<a href="https://www.nansen.ac.jp/pdf/lectures/h30_jigyohoukokusho.pdf">https://www.nansen.ac.jp/pdf/lectures/h30_jigyohoukokusho.pdf</a>
監事による監査報告（書）	<a href="https://www.nansen.ac.jp/pdf/lectures/h30_kansahoukokusho.pdf">https://www.nansen.ac.jp/pdf/lectures/h30_kansahoukokusho.pdf</a>

### 2. 教育活動に係る情報

#### ①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		福祉専門課程	児童福祉科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1860時間	405時間	1140時間	270時間	45時間	
			1860時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		82人	0人	8人	14人	22人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
授業は、講義・演習・実技・実習で構成している。 （講義1単位15時間、演習1単位30時間、実技1単位45時間、実習1単位45時間） 年間の授業は、前期（15週）と後期（15週）の2期制とし、授業日は週5日（月～金）、1日4コマ（1コマ90分）の授業計画である。
成績評価の基準・方法
全科目5段階評価。5（90～100点）、4（80～89点）、3（70～79点）、2（60～69点）、1（59点以下）として、期末試験の結果及び授業や提出物等の成果を総合して科目担当者が評価をする。
卒業・進級の認定基準
年度末に卒業及び進級の判定会議を行い、所定単位の履修有無、必要時間の出席有無、納入すべき学費納入の有無を確認して、すべての条件を満たしていることで卒業及び進級の認定を行う。
学修支援等
クラス担任制をとっており、日々の学校生活に目を配っている。欠席が多くなったり、成績が良くなかったりした場合は、個別面談を行ったり、更には保護者と連携を取り、面談を行ったりする。 スクールカウンセラーも定期的に配置して心理的な相談もできるよう対応している。 学生が学習しやすい環境を提供できるよう、教職員全員が学生の変化等に気づくよう心掛けている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
34人 (100%)	0人 (%)	31人 (91.2%)	0人 (%)
(主な就職、業界等) 保育所及び幼保連携型認定こども園、児童福祉施設			
(就職指導内容) 早期に保育の現場を経験し、卒業後の目的意識を高める。 2年次7月に学内就職ガイダンスを実施して、いろいろな職種の事業所と面談して 就業のミスマッチを防ぐ。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 保育士資格（国家資格）			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
76人	2人	2.63%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による個人面談をすると共に、保護者への連携も密にしている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		福祉専門課程	介護社会福祉科 (介護福祉士コース)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1926 単位時間	960 単位時間	510 単位時間	456 単位時間		
			1926 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
70人		28人	24人	4人	15人	19人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
授業は、講義・演習・実習で構成し、単位時間で表している。 年間の授業は、前期(15週)と後期(15週)の2期制とし、授業日は週5日（月～金）、1日4コマ（1コマ90分）の授業計画である。
成績評価の基準・方法
全科目5段階評価。 5（90～100点）、4（80～89点）、3（70～79点）、2（60～69点）、1（59点以下）として、期末試験の結果及び授業や提出物等の成果を総合して科目担当者が評価をする。
卒業・進級の認定基準
年度末に卒業及び進級の判定会議を行い、所定単位時間の履修有無、必要時間の出席有無、納入すべき学費納入の有無を確認して、すべての条件を満たしていることで卒業及び進級の認定を行う。
学修支援等
クラス担任制をとっており、日々の学校生活に目を配っている。欠席が多くなったり、成績が良くなかったりした場合は、個別面談を行ったり、更には保護者と連携を取り、面談を行ったりする。 スクールカウンセラーも定期的に配置して心理的な相談もできるよう対応している。 学生が学習しやすい環境を提供できるよう、教職員全員が学生の変化等に気づくよう心掛けている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
2人 (100%)	0人 (%)	2人 (100%)	0人 (%)
(主な就職、業界等) 病院			

<p>(就職指導内容)</p> <p>早期に介護の現場を経験し、卒業後の目的意識を高める。 2年次7月に学外就職ガイダンスに参加して、いろいろな職種の事業所と面談して就業のミスマッチを防ぐ。</p>
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>介護福祉士受験資格</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
11人	3人	27.3%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>進路変更、経済的事由</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>担任による個人面談をすると共に、保護者への連携も密にしている。</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		福祉専門課程	介護社会福祉科 (介護・社会福祉士コース)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2770 単位時間	1410 単位時間	720 単位時間	640 単位時間		
			2770 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
50人		39人	0人	4人 (介護福祉士コース の内数)	15人 (介護福祉士コース の内数)	19人 (介護福祉士 コースの内数)	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
授業は、講義・演習・実習で構成し、単位時間で表している。 年間の授業は、前期(15週)と後期(15週)の2期制とし、授業日は週5日（月～金）、1日4コマ（1コマ90分）の授業計画である。
成績評価の基準・方法
全科目5段階評価。 5（90～100点）、4（80～89点）、3（70～79点）、2（60～69点）、1（59点以下） として、期末試験の結果及び授業や提出物等の成果を総合して科目担当者が評価を する。
卒業・進級の認定基準
年度末に卒業及び進級の判定会議を行い、所定単位時間の履修有無、必要時間の出席有 無、納入すべき学費納入の有無を確認して、すべての条件を満たしていることで卒業及 び進級の認定を行う。
学修支援等
クラス担任制をとっており、日々の学校生活に目を配っている。欠席が多くなったり、 成績が良くなかったりした場合は、個別面談を行ったり、更には保護者と連携を取り、 面談を行ったりする。 スクールカウンセラーも定期的に配置して心理的な相談もできるよう対応している。 学生が学習しやすい環境を提供できるよう、教職員全員が学生の変化等気づくよう 心掛けている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
9人 (100%)	0人 (%)	9人 (100%)	0人 (%)
(主な就職、業界等) 特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、障害者施設等			

<p>(就職指導内容)</p> <p>早期に介護の現場を経験し、卒業後の目的意識を高める。 2年次7月に学外就職ガイダンスに参加して、いろいろな職種の事業所と面談して就業のミスマッチを防ぐ。</p>
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>介護福祉士受験資格、社会福祉士受験資格(卒業後実務経験2年要) 社会福祉主事任用資格</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
37人	2人	5.4%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による個人面談をすると共に、保護者への連携も密にしている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		看護専門課程	看護学科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3015時間	1830 時間	150 時間	1035 時間	時間	時間
			3015時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		79人	0人	10人	42人	52人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
授業は、講義・実習で構成している。演習単独の科目はないが、講義授業の中で少し含めている。（講義1単位15時間、実習1単位45時間） 年間の授業は、前期（15週）と後期（15週）の2期制とし、授業日は週5日（月～金）、1日4コマ（1コマ90分）の授業計画である。
成績評価の基準・方法
全科目5段階評価。 5（90～100点）、4（80～89点）、3（70～79点）、2（60～69点）、1（59点以下）として、期末試験の結果及び授業や提出物等の成果を総合して科目担当者が評価をする。
卒業・進級の認定基準
年度末に卒業及び進級の判定会議を行い、所定単位の履修有無、必要時間の出席有無、納入すべき学費納入の有無を確認して、すべての条件を満たしていることで卒業及び進級の認定を行う。
学修支援等
クラス担任制をとっており、日々の学校生活に目を配っている。欠席が多くなったり、成績が良くなかったりした場合は、個別面談を行ったり、更には保護者と連携を取り、面談を行ったりする。 スタールカウンセラーも定期的に配置して心理的な相談もできるよう対応している。 学生が学習しやすい環境を提供できるよう、教職員全員が学生の変化等に気づくよう心掛けている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (100%)	0人 (%)	0人 (%)	0人 (%)
（主な就職、業界等） 病院			

<p>(就職指導内容)</p> <p>早期に看護の現場を経験し、卒業後の目的意識を高める。 3年次7月に学外就職ガイダンスに参加して、いろいろな職種の事業所と面談をして就業のミスマッチを防ぐ。</p>
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>看護師受験資格</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
40人	1人	2.5%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>学業不振</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>担任による個人面談をすると共に、保護者への連携も密にしている。</p>		



②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
児童福祉科	230,000 円	565,000 円	335,000 円	
介護社会福祉科	230,000 円	575,000 円	375,000 円	
看護学科	400,000 円	595,000 円	395,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.nansen.ac.jp/pdf/lectures/school_evaluation.pdf">https://www.nansen.ac.jp/pdf/lectures/school_evaluation.pdf</a>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 企業・業界団体・学術機関の有識者等からなる学校関係者評価委員会が、各専攻分野における知見を活かして各学科の教育課程や進路指導等について評価し、その評価結果を教員会議や運営会議にて検討して学校長の決裁により次年度以降、教育活動及びその他の学校運営の改善に活かしていく。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
大阪人間科学大学	2年	学術機関の有識者
兵庫大学	2年	学術機関の有識者
社会福祉法人 永寿福社会	2年	企業役員
南海かもめ認定こども園	2年	企業役員
特別養護老人ホーム フィオーレ南海	2年	企業管理職
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.nansen.ac.jp/pdf/lectures/school_evaluation.pdf">https://www.nansen.ac.jp/pdf/lectures/school_evaluation.pdf</a>		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="http://www.nansen.ac.jp">http://www.nansen.ac.jp</a>
--